たんぽぽ

第79号　三州病院広報誌　2019年新年号

「ボランティアによる演奏会」を行いました

爽やかな秋晴れのもと、コーラスグループ〝沙羅〟の16名が来院され、緩和ケア病棟で素敵な歌声を披露して下さいました。エーデルワイスや学生時代、リンゴの唄など6曲を聴かせていただき、患者様やご家族も大変喜ばれていました。

中には涙されるお姿もあり、心に響く歌声でした。沙羅のメンバーの中には90歳代の方々もおられ、沙羅の皆様が歌う姿に元気をいただき、大変充実した時間となりました。

緩和ケア病棟では、患者様やご家族に日常の風を運ぶことを目的に、月1回演奏会を開催しております。機会があれば是非ご参加下さいね。　緩和ケアスタッフ一同お待ちしております。

ボランティアさんによる演奏会

ボランティア委員会　竹下智美

「クリスマス会」を行いました

師走に入り寒さも本格的になってきましたが、皆さま体調崩されていませんか？

緩和ケア病棟では毎年クリスマス会を開催しており、入院中の患者さまを招き、みんなで交流を深めています。今年も患者さま・ご家族に参加して頂き、クリスマス会を開催することが出来ました。

ボランティアの方から飲み物のサービスやピアノ演奏があり、病棟スタッフからは患者様へのクリスマスプレゼントやハンドベルのぎこちない演奏があり、患者様と共に楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

緩和ケア病棟看護師：上田美由紀

ハンドベルのプレゼント

クリスマス会の様子

一次救命処置（ＢＬＳ）研修」を実施して

11月7日、2015年版ＢＬＳガイドラインに基づく質の高いＢＬＳの実践を目的に、南消防署の救急救命士の福原さんの指導を受け医療安全研修を行いました。事務職員や放射線技師も加わり全職員が順に交代し「１・２・３・４」と声かけし合い一次救命処置を実践しました。また、メトロノームの110回/分の速さのリズム音を聞きながら「速さ・深さ・途切れのない」胸骨圧迫を習得できました。いつもの救急シミュレーションの緊張感とは違い、個々の掛け声が大きくなると同時に各ブースのチームに一体感が生まれ、とても良い研修になりました。的確にご指導いただいた事で、１次救命の基本を習得できました。研修の学びを活かし今後も患者様の命を守れるように、「安全・安心な質の高い医療の提供」に努めていきます。

総看護師長　中村 千鶴

研修風景

「家族会」を行いました

秋晴れの下、緩和ケア病棟4階ホールにて家族会が開催されました。家族会は、当院でお看取りになった患者様のご家族をお招きしております。今回は25名のご家族が参加されました。生前の患者様の思い出を語り合い、笑ったり、泣いたりしながら、辛いお気持ちを話せる場となりました。ご家族を思い出し、涙する方もいらっしゃいましたが、「同じ境遇の人がいて一人じゃないんだ。」「三州病院でよかった。皆さんのお顔を見たらホッとしました。」という言葉も聞かれ、最後には笑顔で帰られました。大切な方を亡くすという心の傷は、時間だけでは決して癒えません。辛い時は一人で抱え込まないで下さいね。私たちはいつでも皆様の傍におります。

緩和ケア病棟　田中 聖也

家族会の様子

接遇研修を行いました

院内教育の職員の必須研修として、「医療者の接遇」をテーマに患者サービス向上委員会主催の研修を行いました。患者様・ご家族からご意見をいただいた実際の場面を設定し寸劇形式の接遇演習を行いました。ナースコール時の対応や患者様のお気持ちを配慮した対応、外来の検査説明など3場面を患者様役・ご家族役・看護師役となり悪い例・良い例の2パターンで演じました。
研修進行は、接遇寸劇を見て感じた事を聞きながら医療者の接遇の在り方を参加者全員で考えました。
演習後の中村総看護師長の講義「医療者の接遇」で、「おもてなしのこころ」や「患者様・ご家族の思いに届く接遇」などを学び、おもてなしの心で実際に行動して初めて患者様に伝わる事に気づきました。
参加者の意見は「まずは挨拶から丁寧にしていく」「相手に伝わらないと満足していただくサービスはできない」「言葉使いの大切さとおもてなしの心の大切さを再確認できた」でした。
今回の「接遇研修」での学びを活かし、三州病院を選んで来ていただいている患者様・ご家族に対して、感謝の気持ちを込めたよりよい接遇ができるようにしていきたいと思います。

患者サービス向上委員会　結城和美

ロールプレイで研修を行いました

毎年恒例もちつき大会

年末恒例のもちつき大会を開催しました。今年も新入職員を始め、多くの職員が一生懸命餅を突きました。餅を突いているうちに段々と体も温まり、冬の寒さも忘れるほど熱気に満ちたもちつき大会になりました。突きたての餅はとてもおいしく、あんこや大根、きな粉をつけて頂きました。平成最後のもちつき大会となりましたが、2019年もチームワークを大切にし、質の高い医療の提供を目指し、邁進して参ります。

レクレーション委員会 冨村 真吾

みんなで餅つきをしました

妻ヶ丘中学生の職場体験を実施して

妻ヶ丘中学2年生2名が職場体験に来られました。病院で働く人達の職種や1日の仕事の内容を知る事、将来の夢へのイメージを明確にする事を目的に来られました。
「医師になりたい」「看護師になりたい」というはっきりとした将来の目標を話されていましたので、主に医師や看護師を中心とした仕事内容を見学・体験してもらいました。患者様とお話ししながらの足浴、血圧測定、リハビリ体験などを行いました。病院の白衣を着ての職場体験でしたが、素直で明るいその初々しさで病院全体が明るくなり、中学生からの質問を受ける度に、私達職員も仕事を目指した時の初心に戻れた2日間でした。当院に職場体験に来ていただき有難うございました。

≪中学生から頂いた職場体験のお礼のお手紙の一部≫
・外観からでは分からない「和」をモチーフに作られた内装は、患者様のためにこだわっている事がわかりました。松葉づえを使った時の難しさ、病院食を食べた時の美味しさ、手術室を見た時の感動何もかも良い経験になりました。
・協力する事の大切さや優しさ面白さを今後の生活に活かして、友達やみんなで協力する事、親切心を持つ事を目標に頑張っていきます。
・看護師になる上で大切な事は、コミュニケーションも大切ですが「笑顔も大事」と教えて下さいました。職場体験を終えて看護師になりたいと言う気持ちが強くなりました。

総看護師長　中村 千鶴

職場体験風景

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も三州病院広報誌たんぽぽを宜しくお願いします。今年は気温の差が激しく、体調を崩しやすいのでお気をつけてお過ごしください。

HP・広報誌委員会　荒神・松元

（財）日本医療機能評価機構　Ver.6　認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
（医）倫生会　三州病院　消化器病センター

HP：http://www.sanshu.org
HP・広報誌委員会委員長：冨村 真吾